

総合学術博物館運営委員会 議事要旨

日 時： 令和6年7月1日（月） 13：30～14：30

場 所： オンライン開催

出席者： 河原（博）、船越（リ）、豊田（リ）、宮久保（リ）、辻野（リ）、横田（リ）、伊藤（リ）、藤岡（人文）、白川（人）、上田（理）、松本（医）、早田（歯）、内山（情）、毛利（連）、藪田（微）、小山（産）、桐原（接）、藤岡（レ）、阿部（サ）、浅野（全・代理）

欠席者： 尾上（附）、仁木（法）、ドンゼ（経）、荒井（薬）、中谷（工）、藤本（基）、蓮生（国共）、竹内（生）、松尾（高）、中井（蛋）、石田（社）

陪席者： 川添、河田、岡田、田村（博・適事務室）

<敬称略>

会議に先立ち、河原委員長から、全委員31名のうち20名の出席により、運営委員会成立要件を満たした旨の報告があり、引き続き開催の挨拶があった。

【協議事項】

1. 令和5年度総合学術博物館決算及び令和6年度総合学術博物館予算（案）について
(資料1)

事務室から、資料に基づき、令和5年度総合学術博物館決算及び令和6年度総合学術博物館予算（案）について説明があり、異議なく承認された。

2. 今後の展覧会企画について
(資料2)

横田委員から、資料に基づき、今後の展覧会企画について説明があり、異議なく承認された。

3. その他

特になし。

【報告事項】

1. 待兼山修学館の屋上・自然教室の開放再開について
(資料3)

河原委員長から、資料に基づき、待兼山修学館の屋上・自然教室について、コロナ前と同じ

状況で開放再開を予定している旨の報告があった。

2. 大阪大学の英語名称の変更について

(資料 4)

河原委員長から、資料に基づき、大阪大学の英語名称の変更について以下の報告があった。

- ・総合学術博物館 (Museum of Osaka University) の表記は、ロゴを含めて変更しない方向で本部に申請する予定であること。
- ・変更に係る負担金額が大きいため、予算措置について本部に相談することも含め対応を検討中であること。

3. 令和 5 年度入館者数について

(資料 5)

河原委員長から、資料に基づき、令和 5 年度入館者数について報告があった。

4. 総合学術博物館ニュースレターについて

(資料 6)

豊田委員から、資料に基づき、ニュースレター「まちかねミュージアム Vol.7」を発行したことについて報告があった。また、兼任教員コラムの寄稿執筆について併せて協力の依頼があった。

5. 令和 6 年度の寄贈・寄託について

(資料 7)

船越委員から、資料に基づき、令和 6 年度の寄贈・寄託について報告があった。

6. 令和 6 年度の総合学術博物館運営委員会委員について

(資料 8)

河原委員長から、資料に基づき、前回 2024 年 3 月 8 日の運営委員会で館長一任としていた理学研究科の運営委員会委員について、上田教授が選任された旨の報告があった。

7. 令和 6 年度以降の企画展等について

(資料 9)

資料に基づき、令和 6 年度以降の企画展等について、担当者からそれぞれ報告があった。

- ・伊藤委員 「藤野家展」
- ・船越委員 「トヨナカ写真／マチの肖像展」
- ・横田委員 「懐徳堂展」

8. 令和 6 年度の各種イベントについて

(資料 10)

船越委員から、資料に基づき、令和 6 年度に開催予定の各種イベントについて報告があった。

9. 外部機関との連携状況について

(資料 11)

船越委員から、資料に基づき、「大学博物館等協議会」と、「かんさい・大学ミュージアムネットワーク」の今後の活動についての報告があった。併せて、6月27日、28日に琉球大学で「大学博物館等協議会」が開催され、当館も参加したことについて報告があった。続いて、宮久保委員から、資料に基づき、「北大阪ミュージアムネットワーク」の今後の活動について報告があった。

10. 顕微鏡遺産認定について

(資料12)

宮久保委員から、資料に基づき、当館所蔵の第一号磁界型電子顕微鏡及び電子回折実験装置について、顕微鏡遺産に認定された旨の報告があった。

11. その他

特になし

以上